

CONTENTS



- 2/3 名護市議会でジュゴン保護決議を
- 沖縄県知事選挙
- 4/5 署名 2次提出と三省交渉
- COP10&アブダビ報告会
- 6/7 フォーラム「沖縄はどこへ向かうのか」
- コラム・「箸墓古墳」
- 8 お知らせ

2010年国際ジュゴン年には、ふたつの重要な国際会議がありました。

ひとつは、10月に名古屋で開催されたCOP10（生物多様性条約・第10回締約国会議）。COP10では全参加国の賛同のもと、生物多様性保全のためのポスト2010年目標＝愛知ターゲットが採択されました。環境省は愛知ターゲット達成のために20の個別目標を掲げています。その中には『海域の少なくとも10%を保護地域にする』『絶滅危惧種の絶滅・減少の防止する』などジュゴンにとって重要な目標が含まれています。日本政府は2012年開催の次回会議（インドCOP11）までCOP10議長国です。その間、SDCCは政府に愛知ターゲットの実質的な履行を求めていきます。

今年はパシフィック・ジュゴン年

もうひとつは、アラブ首長国連邦で開催された、ジュゴン保護覚え書き第1回署名国会議（10/4～6）。国境を越えて移動するジュゴンとその生息地の保護・保全と管理のために、世界のジュゴン生息地を5地域（注1）に分けることが決まり、日本の沖縄ジュゴンは東南アジア地域になりました。この中で、太平洋地域の6カ国（注2）はすべての国が覚え書きに署名したことから、2011年をパシフィック・ジュゴン年とし、ジュゴン保護を強力に進めることとなりました。SDCCもこの国際的取り組みにつながり「基地ではなく、ジュゴン保護区」の大きな動きを作りたいと思います。

また昨年1月、名護市稲嶺市政が誕生しました。稲嶺市長は新基地建設に反対し、豊かな環境を生かした地域づくりを目指しています。SDCCは今年、更に名護市との協力関係を深め、ジュゴン保護区づくりを進めていきます。今年も皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。（関西・山根富貴子）

注1 南西インド洋、北西インド洋、南アジア、東南アジア、太平洋の5つの地域

注2 オーストラリア、ソロモン諸島、ニューカレドニア、バヌアツ、パプアニューギニア、バラオの6カ国
*日本は、この署名国会議に参加せず、署名もしていません。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>



2011年は、パシフィック・ジュゴン年。世界の流れに乗り遅れるな～☆

[EMAIL] info@sdcc.jp



世界のジュゴン生息国が集まったジュゴン保護会議（2010年）



3月名護市議会でジュゴン保護決議を

事務局・蜷川義章

12月名護市議会に「ジュゴンとその生息地の保全を環境省に要請する陳情決議」を提出しました。これは東恩納琢磨議員から呼びかけられ、11月26日環境省交渉（4面）をふまえたものです。

前日の20日、名護市の親川副市長をはじめ市民環境部長、企画総務部長と面談。「ジュゴンが種の保存法の選定要件に該当する閣議決定について」「地元との利害関係について」の二点の質問に答えました。2004年7月小泉内閣が閣議決定した「質問主意書への答弁書」にある「選定される要件に該当する」について説明し、「ジュゴンと藻場の広域調査」（01年～05年）から5年経過していること。保護区の設定には柔軟性があり、豊かな海をつくることになるなどを説明。市役所は関係者を集めた協議会をつくる、など具体的な議論を進めることを求めました。

翌21日午前10時30分過ぎから民生教育委員会が開会。



海勢頭代表から沖縄ジュゴンの歴史的、文化的意義と、ジュゴン保護が地域おこしにつながることを陳述。私からは2004年の閣議決定の経緯や、国際自然保護連合の決議などジュゴン保護が世界の流れであること。日本政府がCOP10議長国の今、名護市議会が決議を上げることの意義などを強調しました。委員長などからは「地元への説明や交流の状況について」など積極的な質問が出される一方、大城委員や東恩納委員から「保護区は漁獲量が増えて漁師にもプラス」などフィリピンの保護区の事例を紹介して議論が行われました。その夜、東恩納議員から「反対意見はなかったが、委員長が本会議で種の保存法など関係法を説明するには準備不足」と継続審議になったと連絡を受けました。

次回3月議会にむけて、委員会への働きかけと名護市への陳情を強めたいと思います。



読書室

『怒り滾（たぎ）る基地の島沖縄』

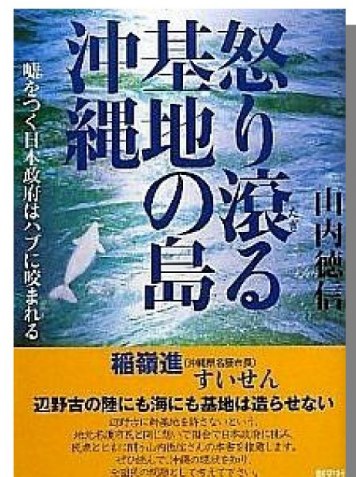
著者：山内徳信著 創史社 1400円＋税



副題は「嘘をつく日本政府はハブに咬まれる」。

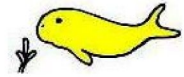
山内さんは参議院外交防衛委員会と沖縄及び北方特別委員会に属し、辺野古に基地を作らせないことをライフワークにしている。菅首相が10月1日の所信表明で「有言実行内閣」と性格付けをしたことに、辺野古・大浦湾への新基地建設の意志を見てとり出版を決意したと言う。出版は11月28日、沖縄県知事選挙の投票日。残念ながら伊波さんは当選しなかったが、仲井真知事に「普天間基地の県外移設」を公約させた。山内さんは「理不尽な基地問題を解決するために。県民よ、市民よ、立ち上がれ！」と呼びかけている。稲嶺名護市長も「ぜひ読んで、沖縄の現状を知り、全国民の問題として考えてください」と推薦している。

構成は、1. 散文詩風にまとめた詩編、2. 国会内外における闘いの記録、3. 講演及びインタビュー記事、4. 今後の反基地闘争を想定した自然法、自然権、抵抗権による理論武装、5. 大統領及び首相への直訴の書簡など。





沖縄県民、名護市民と連帯して



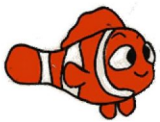
11月沖縄県知事選挙からすでに2カ月。「選挙では負けたが、運動では勝った」と総括されています。仲井真知事が県内移設反対を言わざるを得ないからです。12月17日に沖縄を訪れた菅首相に、仲井真知事は「県内移設はバッドだ」と発言しています。選挙の出口調査で「辺野古移設は容認できない 69%」（共同通信）、「国外・県外に移す 71%」（読売新聞）と県民世論は県外・国外移設なのです。

産経新聞（11月29日）は、仲井真知事が名護市でも2000票差（仲井真15213、伊波13040 投票率64.34%）で勝ったことから、「名護市の世論が変わった」とはしゃいでいます。しかし、1月名護市長選挙では投票率が76.96%（稲嶺17950、島袋（前）16362）と、12%も高かったのです。仲井真陣営は島袋票をほま押さえましたが、伊波陣営は稲嶺支持票を取り込むことができませんでした。稲嶺市長は基地建設ノーとともに、農業や滞在型観光による地域振興の政策を掲げて基地依存経済からの脱却を呼び掛け市民の関心を高めたのです。

菅内閣は沖縄県民に「普天間基地の固定化」と恫喝する一方、来年度に期限が来る「沖縄振興特別措置法の延長」で取り込みをねらっています。来春には日米軍事同盟強化のために菅首相は訪米します。新基地建設の環境アセスメントは、最後の評価書の段階にきています。沖縄県民、名護市民と連帯して「基地ではなく、ジュゴン保護区」にむけて頑張りましょう。事務局・蝸川義章



沖縄出身の首都圏スタッフが、伊波さんの応援にかけつけました。



沖縄県知事選挙支援に参加して

今回の県知事選挙は、郷里・沖縄の未来が決まる大事な選挙ということで職場の後押しもあり伊波候補の選挙支援に行ってきました。平和を願う多くの人達が全国から支援に駆けつけており、心強いものがありました。

選挙支援は、朝7時半には大型パネルやのぼりを持って通勤途中の有権者にアピールして、その後3~4人のグループで、ハンドマイクやメガホンで伊波さんの政策を知ってもらおうべく地域の路地を回りました。夜は電話掛けをして一票でも多くと・・・活動したのですが、残念ながら当選することは出来ませんでした。しかし、今回の選挙は県民の総意が「普天間基地の県内移設ノー」であることを再確認するものになり、現知事に「県内移設反対」を公約させた意義は大きいと思います。知事が公約を守り通していくよう見届けたいと思いますし、「いつかきっと私達が勝つ！」との伊波さんの言葉を信じて基地のない平和な沖縄を実現すべく、ジュゴンの保護活動も続けたいと思いました。 首都圏・宮城昭子

オリジナル★ジュゴングッズ



SDCCでは、他ではなかなか見当たらないレアなジュゴングッズを手作りで作成イベント等で、販売しています。もちろん売上は大切な活動資金になっています。ぜひご協力！

アブダビ会議、
COP10をふまえて

11月、外務・防衛・環境省との交渉をしました

約1万5千筆(二次分)
の署名を提出

ジュゴン保護覚え書き第1回署名国会議(SS1)と生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)をふまえて11月に対政府交渉を行いました。また、国際自然保護連合(IUCN)決議の履行と、沖縄ジュゴンを種の保存法に選定することを求める署名の第2次分1万4千735筆(累計4万5千259筆)を提出しました。

11月25日午後、外務省にCOP10で採択された愛知ターゲットについて今後の取り組みを確認しました。外務省は環境省、水産庁などの取りまとめをするだけと消極的な姿勢。ABS議定書はテキストを6カ国語に訳して、正式な文書形式にするので2012年の通常国会に提出、批准のスケジュールになることを明らかにしました。

25日夕方に防衛省。当初、米国連邦裁判所でのジュゴン訴訟の担当課はないと逃げていましたが、防衛省のアセス方法書の英語訳が連邦裁判所に提出されていると追及すると、日米防衛協力課が窓口であることを認めました。事故が多発しているオスプレイ配備について

は、環境アセスの対象ではないと居直る一方、沖縄県から要請があれば行うと明言しました。

翌26日午前に環境省。前回交渉では「ジュゴン保護署名国会議に参加すれば国内法の整備を求められるから」と逃げていましたが、「法的拘束力はない」との「覚え書き」文書を提示すると、「第2回会議は議題を見たうえで、日本国に有益かどうかで判断する」といわざるを得なくなりました。COP10議長国の日本政府が「(国際会議出席か)自国の利益になるかどうかか判断基準」との驚くべき発言。種の保存法の選定は「ジュゴンの生態が明らかでない。保護政策が確定していない。地元の理解を求めている段階。どこを保護区に？」など絶滅危惧種ジュゴンの絶滅を待つ姿勢に終始しました。その中で、ジュゴン保護を求める名護市議会での決議が、地元の合意の指標であることは認めました。これをステップに、ジュゴンを種の保存法の選定種にする取り組みを強めます。

*次回の署名集約日は5月10日です。

よろしくお願いします。

事務局・蜷川義章



三省交渉に参加して

11月25日に外務省と防衛省、26日に環境省の三省交渉に参加しました。二度目の参加でしたが、今回も残念ながら、私たちの願いは、なかなか伝わりませんでした。

自然豊かな海を守り、ジュゴン保護の推進の早期履行や次回のアブダビ会議への参加など、予想はしていましたが、すべてに消極的な姿勢で、通り一編の回答で、前向きな答えは返ってきませんでした。「基地ではなく、ジュゴン保護区を」の実現に向け、交渉を重ねていく事は、とても有意義だなあと感じ、今後も、直接交渉の場で、私たちの声が届くよう、どんどん要請していきたいと思います。皆さん、今年もがんばっていきましょう。

首都圏 矢敷克子



防衛相交渉に参加して



私は今回初めて交渉に参加しました。防衛省のみの参加でした。

防衛省の中に入る事すら初めてだったので、交渉が始まる前からとても緊張していました。

参加してみて印象的だったことは、こちら側の質問に対して、防衛省の方々なるべく責任を負わなくて済むよう探り探り回答されていたことです。国を守るための仕事をしている所なのだからもっと堂々とした態度で答えて欲しいと思いました。ですが、もどかしい回答に加え、オスプレイを配備するなら追加でアセスを行なうなどの良い回答を頂きました。SDCCとしては、何度も交渉を行なってきていますが毎回良い回答が返ってくるわけではないです。しかし、何度も繰り返すことで小さな前進が得られると希望を持ち、あきらめず行動することが大切だと思いました。

首都圏 鈴木陽子

名古屋COP10&アブダビ報告会



関西&首都圏



関西報告会

【関西】11月20日、大阪市立中央区民センターで、名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（通称COP10）とその前にアブダビで行われたジュゴン保護覚え書き第1回署名国会議の報告会をしました。三線の演奏からスタートして和気あいあいとした楽しい報告会となりました。まずはアブダビの会議はジュゴン保護のための初の会議でした。日本のジュゴンは危機的状況にあると会議ではっきり述べられたというのにこの大事な会議に日本政府は参加していないというのはまことに残念なことでした。

COP10は11日間という長丁場の中でスタッフが手分けして毎日ブースに立ちました。それ以外にも南山大学で講義をさせてもらったり、沖縄BDネットのイベントに参加したりと、本当に朝夕、フルに活動したことを参加者がそれぞれの立場から思い思いに報告をしたことが高評価されました。また写真説明だけでなく映像も駆使して報告したこともわかりやすかったと思います。

質疑応答では活発な意見があり、関心の高さを感じました。報告後に新しく会員になってくださった方もあり、うれしい＆新しい出会いに感謝です！（上田 千鶴）



唄三線で盛り上がりました



鼻で吹くのは結構むずかしい！

いただいたジュゴンの鼻笛



首都圏報告会



11月政府交渉の様子

【首都圏】12月5日、港区勤労福祉会館で「COP10&アブダビ報告会」を開催しました。目標にしていた参加者数には及びませんでしたが、参加された20名の方々のジュゴンに対する熱い想いが伝わってきました。初めて参加した方、鼻笛を寄付して下さった方、イベントの収益を寄付したいと考えている方、ブログで報告会の記事を書いてくれた方、久しぶりに会えたスタッフ……。とてもうれしいことばかりでした。

また、11月の沖縄県知事選挙の応援に駆けつけた会員さんから報告が聞けました。残念ながら伊波さんの当選とはなりませんでしたが、基地移設反対の県民世論は変わらないことを再確認しました。

今年はパシフィックジュゴン年！首都圏でも独自のイベントを計画します！よろしくお願ひします。 首都圏 三村昭彦

報告

「COP10以降の沖縄」に参加して

12月19日、沖縄大学でジャパンフォーカスと沖縄大学地域研究所の主催によるフォーラム「沖縄は、どこへ向かうのか」が開催され、約170名が参加しました。(沖縄・吉川秀樹)

第1セッション「COP10以降の沖縄」では、沖縄・生物多様性市民ネットワーク(沖縄BD)の河村雅美さんが、COP10への取り組みと、そこから見えてきた市民社会の課題とその解決について発表。それを受けて沖縄大学の桜井国俊先生が「保全、利用、知る」という三つの実践からの環境へのアプローチを提言しました。

論点の一つは、「環境、平和、人権」の3本柱で活動してきた沖縄BDのアプローチについてでした。沖縄BDのアプローチは、世界の環境NGOではよく見られるが、日本国内の多くの環境NGOのアプローチとは異なること。そこを乗り越えて、米軍基地等の政治的要素が強い沖縄の環境問題に、のように「専門家」「行政」そして多くの市民が関われるようにするか等の議論がなされました。

SDCCで活動してきた僕としては、環境に関する様々な国内法や国際条約や仕組みが、本当は身近なものとして存在し、活用できることをアピールしていくこと。また「ジュゴ

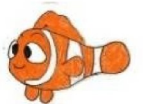
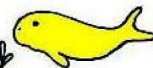
ンの里ツアー」のような取り組みをアピールしていくことが、環境問題への関心を高める重要な手段となるのではないかと、改めて考えさせられました。



「あなたの仕事 ジュゴンの権利」

レイバーフェスタ2010OSAKAの3分間公募映像への応募作です。「あなたの仕事 ジュゴンの権利」いったいどういう関係?鳥羽水族館の悠々と海草を食べるジュゴンのセレナ、名護市瀬嵩ジ

ュゴンの見える丘からの海に「きっといる」ジュゴンが答えを教えてください。生物多様性名古屋 COP10 ではジュゴンちゃんが大活躍しました。COP10ではさまざまな議論がなされました。今は行動の時!2011 パシフィックジュゴン年です。静かに泳ぐジュゴンをみんなで見守っていききたいですね(^-^). (関西・松島洋介)



2010年最後の街頭行動

大阪の京橋、関西事務所の近くで続けている街頭行動。

2010年のしめくりにジュゴンを背負ったサンタさんが登場しました!師走の連絡橋は人通りも多く、ジュゴン折り紙をくばるサンタさんの奮闘で署名がどんどん集まりました。バッグ

にジュゴンのマスコットをつけた人が通りかかったり、沖縄スタッフの知り合いという人が声をかけてくれたり……。街頭行動は、ステキな出会いの場です。2011年もがんばります☆ (関西・山根富貴子)



はしはか
『箸墓古墳』

ジュゴンちゃんぷる・コラム

古里は何処?と池側さんに聞いた。奈良の桜井市です、と彼女は答えた。実家が三輪明神を祭る大神(おおみわ)神社のすぐそばとのこと。私はなるほどと思い、大神神社を訪ねたい気になられた。そこへ行けば、恐らく池側さんがジュゴン保護に懸命な訳が見えると思ったからである。

2010年とはとにかく忙しい年であった。その目茶苦茶な一年を振り返りながら、12月4日に大阪へ飛んだ。岡部伊都子さんと私を結びつけてくれた山口弘さんの、10回忌の追悼の集いに参加し、翌5日の「月桃の花」歌舞団公演を見届けるためであった。

毎年秋恒例だった関西コンサートツアーは、必ず一日を空けて、京都出雲路の岡部さんの家へ連れて行ってくれたのは山口弘さんであった。またジュゴンの里構想で悩んでいた琢磨を励まし、足しげく沖縄に通って私を応援してくれた山口さん。それがこともあろうに不治の病にかかり、沖縄で亡くなってしまった。

それ以来、約束していた熊野の旅も立ち消えになったま

まだ。ある日意を決して奈良の箸墓古墳を訪ねてから、その感動的報告を持って岡部さんの家に向かった。

「岡部さんは卑弥呼の生まれ変わりです」と私が言うと、恥ずかしそうに笑った岡部さん。その岡部さんも亡くなってからもう2年が過ぎた。思えば、この10年間で色々なことが起きたものだ。私も残された人生に宿題を完成させねば、と思うと、いささか焦りを感じないわけにはいかない。

5日の朝を迎え、10時に京阪ホテル京橋に松本さんが車で迎えに来てくれた。天気は晴れ。何処へ行きますかとの問いに、私は奈良と答えた。池側さんちの神社のこともあったが、今一度箸墓古墳を見ておきたいと思ったからであった。そして行ってみて新たに分かった事が、今までの苦勞と疲労を吹き飛ばしてくれた。崇神と龍王山、箸墓と三輪山、そしてイザナミ神社の金色の巴紋が輝いて迎えてくれたからである。(つづく)

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)

SDCC 総会のご案内

今年の総会は大阪で行われます。ジュゴンの棲む海を護るための活動方針について話し合う場に、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

とき: 4月10日(日) 午後1時30分~4時

ところ: ドーンセンター大会議室

SDCC 第11回総会 ~ 満10周年を記念して

名護写真展

3月、名護市内で写真展を開催します。豊かな海の素晴らしさと大切さを再認識できる機会になればと願います。多くの方に宣伝をお願いします。

「ジュゴンの海」写真展(仮称)

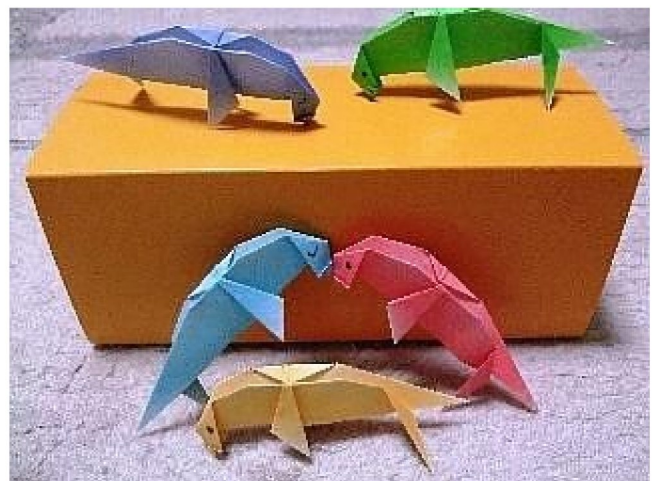
3月13日(日) 10時~17時

名護市中央図書館

~広がる ジュゴン折り紙の輪~

ジュゴンを折る私をみていつからか母が応援してくれるようになり、今ではすっかり母の役割(?)せせせと折ってくれています。ありがたい。

「いつまで続くの~」と言いながらも、密かに“感謝状”を心待ちに楽しんでいます(と思います)(関西・1)



写真展「沖縄 うみさんぽ 辺野古・大浦湾」

大阪で辺野古・大浦湾をフィールドにされているフリーランスのカメラマン、牧志治さんの写真展を開催します。サンゴやアジサシなどの素晴らしい写真展です。ぜひお越しください。

日時：2011年1月27日（木）～30日（日） 12:00～19:00

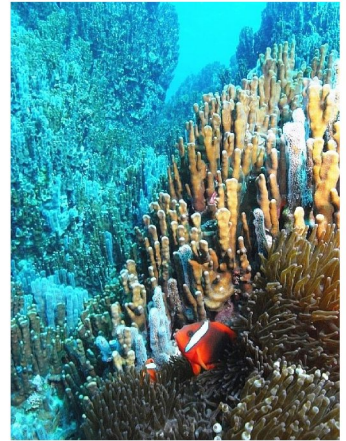
（最終日1/30には、14時～16時にお話し会をします。）

場所：カフェギャラリー “カシオペア” 090-3999-0304

阪急「関大前」または「千里山」駅より徒歩5分

参加費： 無料（お話し会は、ワンドリンクオーダー）

主催・問合せ先： ジュゴン保護キャンペーンセンター・関西事務所



ジュゴンを応援して下さっているお店紹介です！



～くる屋さんからメッセージをいただきました～

大阪・弁天町駅オーク200に沖縄三線と雑貨の店「くる屋」があります。くるとは、沖縄の言葉で『こころ』です。心と心をつなぎ、島の文化と自然を愛しながら、三線、工芸品、食品などを販売していて、ジュゴングッズとカンパ箱も置かせてもらっています。

島の自然さえも守ることができない基地にこの国を守ることなんてできるのだろうか…そんな思いの中ジュゴン保護キャンペーンセンターの皆様と知り合えたこと、協力できることに感謝しながら大切なものを見失わないように沖縄の現状を広く知っていただけたらと思います。人も自然も豊かになりますように。

くる屋 〒552-0007

大阪市港区弁天1丁目2番2-200 オーク2番街 東館2階

Tel・Fax 06-6577-5006 <http://cuculuya.ocnk.net/>

*ぜひ立ち寄ってみてくださいね

署名

第3次集約は今年の5月10日です。
皆さまの更なるご協力をお願いいたします。

第2回生物多様性シンポジウム in 大阪

～つながるすべてのいのちのために～

「名古屋COP10をふまえて これから私たちにできること」

日時：3月6日（日） 13:00～17:00

場所：港近隣センター（地下鉄中央線「朝潮橋」駅より徒歩8分）

参加費：1000円

内容：COP10レポート、生物多様性ホットスポット現状報告、様々な取り組みリレートーク、ワールドカフェなど

*ご参加お待ちしております

3/12(土)海勢頭コンサート

名護市で海勢頭豊コンサートがあります！

日時 3/12(土) 午後3時～

会場 名護市国際交流会館

主催 名護市文化協会



来てね☆

☆翻訳ボランティア募集☆

国際的なジュゴン保護の流れの中、SDCCの活動を世界に広げるために、ちゃんぶるニュース記事を英訳し、世界に発信しています。ニュース記事を英訳して下さるボランティアを募集しています。

詳しくは info@sdcc.jp までお問い合わせください。

Editor's Note 今回から紙面の構成を少し変えました。いかがでしたか？感想・ご意見などいただけるとうれしいです。今年はパシフィック・ジュゴン年。今年も元気に活動します。Happy Dugong Year☆(Y)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.54 2011年1月25日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

